

賀詞交歓会

新たな気持ちで市の発展を願う



1月5日、西部総合公園体育館において、約400人が出席し賀詞交歓会が行われました。当日は、平成17年中に善意銀行や奨学基金、施設整備、防犯交通安全対策、芸術文化振興等に20万円(相当)以上の寄附をされた方々に、矢数市長から感謝状が手渡されました。

新年のあいさつなどが和やかに交わされるなか、アトラクションとして、市内で箏曲を指導する生田流箏曲祥絃会会主の前田幸子先生、多田美保先生と、その生徒さんによる「新春 琴の調べ」の演奏が披露され、新年の厳かな雰囲気盛り上げていました。

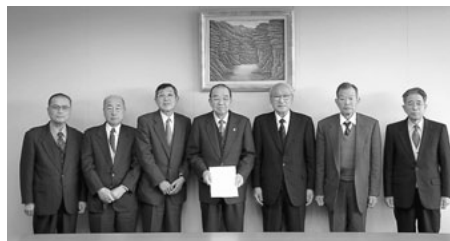
補助金等検討委員会から

補助金等の見直しを提言

1月12日、常陸大宮市補助金等検討委員会(野上義明委員長)から市

補助金等の見直しについての提言書が市長へ提出されました。

これは、昨年11月に市長から委嘱を受けた6名の委員さんにより検討いただいたもので、提言書の内容は、現在、市内の各種団体等に対して市から交付している補助金や助成金などについて、その交付基準や交付額等を見直すための基準をまとめたものです。



今後、この提言書に基づき市補助金等見直し要領を制定し、一定の周知期間をおいて見直しが行われる予定です。

白菜がおいしく意外に変身!

食生活改善料理コンテスト

12月22日に行われたこのコンテストは、市食生活改善推進員連絡協議会の主催により、地産地消として身近な野菜の摂取をテーマに、冬期に広く料理に使用される白菜を主とした我が家自慢の料理を各地域の推進員に呼びかけ、開催されました。

調理終了後、審査員により味・見た目・調理の簡便さ・庶民的な費用・独創性などの選考基準にそって採点されました。どの料理も素晴らしく甲乙つけ難いなか、大宮地区推進員(代表野上英子さん)の、白菜を生地に練り込んだ「白菜入りうどん」が最優秀賞に選ばれました。

合併後初めてのコンテストで推進員同士の交流も深められ、

今後の各地区における普及活動の活性化が期待されます。



▲最優秀賞に選ばれた、緑色が鮮やかな「白菜入りうどん」

白菜入りうどんの作り方

【材料4人分】 中力粉 250g
白菜(緑の部分) 40g
水 150cc
塩 小さじ1

- ①白菜は茹で、ミキサーにかける。
- ②ボールに粉を入れて①と混ぜ、打ち粉をし平らに伸ばして5cm幅に切る。
- ③たっぷりの沸騰湯で麺を茹でる。浮き上がったら火を弱め10分位茹でる。
- ④③を水洗いしザルにあげる。

救える命を救うために

AEDの寄附がありました

岡崎外科医

院(上町) 岡崎匡雄先生および阿部歯科クリニック

(泉院長阿部栄一先生から

AED(体外式除細動器)

3台の寄附がありました。

AEDとは、突然死の主な原因とされる心室細動等の不整脈状態を電気ショックで正常にする装置で、平成16年7月から医療従事者や救急救命士だけでなく一般市民による使用が認められたものです。

寄附にあたって、岡崎先生から迅速な応急手当の重要性等のお話し

他、AEDの使用法の説明があり、市職員も実践してみました。

AEDの使用にあたっては救命講習で確実な技法を習得されることが望ましく、市消防本部でも講習会を開催していますのでご参加ください。

なお、今回寄附いただいた3台は、市役所およびロゼホール、西部総合運動公園体育館に設置される予定です。



自分の身は自分で

小瀬小学校防犯教室

1月17日、小瀬小学校体育館において、全児童を対象に防犯教室が実施されました。

教室では、防犯ビデオ「5つの約束」を上映。その後、大宮警察署生活安全課署員による防犯講話があり、犯罪にあわないための約束事「いかのおすし」の説明に、児童たちは真剣に耳を傾けていました。さらに、不審者に声をかけられた場合の対処方法や、腕をつかまれた際の逃れ方、「助けてっっ！」と大声を出す練習等を、警察署員と先生、代表児童によって実演する体験活動も実施されました。

児童たちは、改めて児童をねらう犯罪の恐ろしさを体験し、「自分の身は自分自身で守る」ことを再認識することができました。



「いかのおすし」とは？

いか…知らない人についていけないの…他人の車にのらない

お…おおごえを出す

す…すぐ逃げる

し…何かあったらすぐ知らせる

輝いています！高校生会-brize-

市高校生会は、現在会員27人。市の行事や子ども会活動に協力したり、様々なボランティア活動を行っています。

会員募集中!!

高校生会では、共に活動する仲間を募集しています。市内に在住または在学している高校生で、ボランティアに興味のある方ならどなたでも入会することができます。

きっかけや始める時期はそれぞれ違って、「やってみよう。」と思ったなら、それがあなたのスタートです！興味がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

《問い合わせ先》

教育委員会生涯学習課（担当 宇野・高橋）

☎52-1111・FAX53-6502

syougaiakusyu@city.hitachiomiya.lg.jp

「brize」という名前は、高校生会のサブネームです。英語の

bright（明るく）とrize（上がる）を合わせた造語で、「明るく元気にみんなで向上していこう！」という熱意を込めて、会員みんなで話し合って決めました。



☆平成17年度の主な実績☆

- ・6月 地域子ども教室「走って遊ぼう！」企画運営
- ・7月 養護学校へ通う子どもたちとプール交流会
- ・7月 市子ども会幹部研修会（1泊2日）企画運営
- ・7～8月 常陸大宮市ふれあいの船参加等(指導員)
- ・8月 地球はともだちプロジェクト企画運営・協力
- ・9月 緒川みどりの少年団キャンプへ参加
- ・10月 福祉団体スポーツ大会に協力
- ・11月 ソフトボールフェスティバルに協力
- ・12月 各種団体のクリスマス会に参加
- ・1月 市駅伝大会に協力

会長 鈴木 美喜子

この会は、高校生時代にしかできないボランティアです。入ることにより社会の厳しさや、責任感、協調性が芽生えてきます。自分を磨くにはとても良い場所です。また、進路を決める内申書にもとても助けられます。私もかなり助けられました。



小野瀬 晃仁

ボランティアでたくさん子どもたちとふれあえることがとても楽しいです。「ふれあいの船」では貴重な経験ができました。高校生みなさん一緒に活動しましょう！



副会長 會澤 真理

自分の内面が磨かれること間違いないです！！みんなやる気のある人たちなので打ち解けるのに時間はかからないし、百聞は一見にしかず。一度見に来てください。



横山 光大

一番思い出に残っているのは、ふれあいの船での貴重な体験です。この会の良いところは、みんなおもしろいこと。（市役所の人も含め）思ったより堅いイメージではなく、とても楽しいので、ぜひ高校生会に入ってください。

